

〈解答〉

- ① 1 ア・エ（順不同、完答）
 2 いただいた
 3 (1) 「例」親しみ（3字） (2) 「例」展示方法や紹介方法の工夫（12字）

配点 ① 1、2は各2点、他は各3点 10点満点

〈解説〉

- ① 【インタビュアーの様子】の中で、田村さんから永井さんへの質問に注目してみると、「主にどのようなお仕事をされているのですか」「なぜ学芸員という職業を選ばれたのですか」「こちらの美術館を訪れるお客さんは、一日でどのくらいいるのですか」という3つの質問をしていることがわかる。それを踏まえると、ア・エが適当である。イは、【インタビュアーの様子】の中には出ていない話題であるため、ウは、田村さんが質問したのは一日当たりの来館者数であるため、オは、永井さんから田村さんへの質問であるためそれぞれ適当ではない。
- 2 文中の主語が「田村さん」であることに注意する。自分の行為について目上の人に話すときは、謙譲語を用いる。よって、「もらった」の謙譲語である「いただいた」に言い換える。
- 3 (1) 永井さんから、美術館での取り組みについて聞いた田村さんは、「お客さんが、より作品に親しめるように、様々な工夫をされている」とまとめている。よって **A** には「親しむ」が入りそうである。しかし、**A** の直後に格助詞「を」があるので、「親しみ」という名詞を入れる。
- (2) お客さんが作品に親しむことができるように美術館が行っている工夫として永井さんは、「作品の展示方法を工夫すること」「作品の解説を聞くことができる音声ガイドを貸し出すなど、作品の紹介方法を工夫すること」を挙げている。これらを指定字数に合わせてまとめる。